

人文社会科学部後援会事業実施報告

申請者氏名：太田啓文（法律経済学科 経済学・経営学メジャー 准教授）

申請 No.：1-12

事業区分：ゼミ合宿における学生旅費補助

対象学年：3年生8名、4年生4名

報告項目：イノベーション論ゼミ夏季ゼミ合宿

（2025年7月31日～8月1日、於：国立オリンピック青少年総合センター）

報告内容：

現在、イノベーション論ゼミはメジャー基礎ゼミ生の2年生からメジャー専門ゼミ生の3年生・4年生まで各学年が在籍しているが、学年ごとのゼミ運営となっているため、日頃学年をまたいだ交流機会はあまりないのが実情である。学年ごとのゼミ運営は同学年学生同士の理解が深まり効率的なゼミ運営につながるものの、各自の取り組みの前提などを他者に伝える努力が徐々に不要となり、そうした努力を怠るネガティブな側面が生じる。そこで、夏季休暇期間を用いて、イノベーション論ゼミ生のうち専門ゼミ生の2学年が一堂に会し、相互に研究内容を発表し合うことで、自身の研究を知らない他者に限られた時間でいかにわかりやすく内容を伝えるかについて、各自が向き合う機会を設けた。他学年の取り組みについて理解を深める目的で自身の学年への質問は禁じ、必ず他学年の発表への質問を各自行うことを義務付けた。

一日目は、まず4年生4名が一人ずつ各自の卒業研究テーマについて現時点の進捗状況を報告し、続いて3年生が東海村で工業塗装業を手掛けるヒバラコーポレーションとの共同研究プロジェクトについて取り組み状況を発表した。上記の質問ルールが奏功し、各自が各報告について少しでも理解を深めようと努める姿勢が最後まで見られた。この発表には株式会社NTTデータの出資・M&A室の方にお越しいただき、さまざまな角度から今後の研究の進め方への示唆をいただいた。続く二日



目は、ソニー生命ライフプランナーの方をゲストとしてお招きし、30代前半の典型的な4人家族モデルを仮想的に取り上げ、この家族の今後のライフプランについて、3年生・4年生混合チームで検討し、相互にその内容を報告し合った。まだ社会に出ていない彼らにとって、家族に次々に生じるさまざまなライフイベントを想像し、さらにそれらに必要なコストを割り出すのは極めて難しく、あらためて今後の人生を見つめる貴重な機会となった。後半は当日のテーマを超えて意見交換が行われ、ゲストご自身のおすすめ書籍や、学生時代の様子や転職に至った背景などに学生らは真剣に耳を傾け、今回の二日間の活動を今後の学生生活に少しでも活かそうとする姿勢が見られた。

以上